

第 56 期**報 告 書**

2014年3月21日～2015年3月20日

愛光電気株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第56期（2014年3月21日から2015年3月20日まで）の決算を終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月



代表取締役社長
近藤 保

■営業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府の金融政策や財政政策を背景として、企業の設備投資の増加や雇用環境の改善など、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、円安による原材料価格の高騰や消費税率引き上げ等による個人消費の低迷などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

電設資材卸売業界におきましては、官公庁工事が増加し民間建設投資も持ち直しが見られる中、LED照明、太陽光発電システム等の省エネ関連商材に活況が見られ、消費税増税後も景気回復の期待感や先行きの好材料から設備投資需要に安定感が出てまいりました。しかしながら原材料価格や現場人件費の高騰により需要獲得の競争が激しく、収益環境は依然として厳しい状況です。

このような状況の中、当社においては4月に展示即売会「AIKO フェスタ2014」を実施いたしました。また消費税増税後における駆け込み需要の反動の影響も少なく、売上高、粗利高ともに好調に推移いたしました。

結果、当事業年度における売上高は11,573百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

利益面につきましては、粗利高は好調に進捗したものの、貸倒引当金繰入額の計上もあり、販売費及び一般管理費の総額は1,747百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

これにより営業利益150百万円（前年同期比19.0%減）となり、経常利益154百万円（前年同期比19.4%減）、当期純利益は73

百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

■経営の基本方針

当社は、電気機器電設資材総合商社として「社会への貢献」「企業の永続」「社員の幸せ」の三つを調和させ、お客様、仕入先、愛光電気株式会社の三者が共に生成発展する三位一体の使命感経営を実践し続けることを経営理念とし、新市場、新商材の探求と有力な販売チャネルの拡充・拡大、新たなビジネスモデルの創出など、「電気総合商社」として時代を先取りする企業を目指してまいります。

■中長期的な経営戦略

創業60周年を機に平成26年3月期（第55期）から平成35年3月期（第64期）までの10ヶ年を対象期間とする10年ビジョン（名称：AIKO NEW WING PLAN-II）を策定いたしました。メインテーマは「時代を先取りする企業」です。このテーマを基に当社の成長戦略を描き、ビジョン実現に向け中期経営3ヶ年計画を策定、実行してまいります。

■当面对処すべき課題

経営戦略を実現するため、次の目標を課題として設定し具体的な施策を実施致します。

- ①当社は神奈川県西部の小田原本社を中心に、神奈川県内と静岡県東部、東京都内に営業拠点を配している。東京都内に於いては、オリンピック・パラリンピック開催に伴う施設の新築や更新、駅前の再開発などが進行中であり、建設市場は活況が続くものと思われる。この機会を捉えて、得意先の新規開拓を推進し業容の拡大、発展を図る。そのための要員の配置や出店が課題である。神奈川県や静岡県に於いては新規開拓と既存得意先の占有率のアップに重点を置き、地域売上NO.1（ニッチトップ）を目指す。売上は市場規模と占有率（マーケットサイズ×シェア）に依存するため、経営環境に適した営業所運営に注力して、全営業所営業利益黒字化を達成することが会社の対処すべき課題である。
- ②労働法改正の動きのなかで、雇用形態や働き方の多様化が求められる状況となっている。当社の人事戦略に有効な施策については速やかに対応していくことが経営課題である。
- ③会社が求める人財像の指標を以下に示す。経営理念の実現を目指す人財の育成が課題である。
 1. 得意先のニーズに合ったものを提供できることがプロフェッショナルの条件である。そのためには専門的な知識や経験に加え、相手の立場に立った横断的な知識・経験の修得が必要である。これらの修得を通じてプロフェッショナルを目指す。
 2. 各人が形成する人脈や信頼関係、知識や経験の蓄積は会社の財産である。将来を見据えて、常に自分の頭で考えて仕事の『価値』を高めていくことが、結果として確実な利益貢献をもたらす。
- ④平成27年2月に当社が加入している神奈川県電設厚生年金基金は、解散方針決議を行ったことを受け、当該基金の解散認可に至るまでのプロセスを注視し、基金解散後の当社退職給付制度全体を包括的に検討していくことが経営課題である。

■経営の礎

「社団法人倫理研究所」のライセンス認定企業プログラム『倫理17000』に、全国4万社の会員企業の中から53社が認定され、当社もその中の一社（第25号）として認定されています。（2004年9月1日交付）

倫理とは人間を幸福に導き、平和で豊かな社会を築く基本であり、道徳を超える生きた生活法則と捉えています。1972年（S.47）以来、社員全員が倫理研修に取り組み、その実践を通して人間社会を幸福にするものとして社員一人一人に深く浸透しています。

その高い倫理観は、ビジネスパートナーからの評価も大変高く、コンプライアンスをはじめ、当社の経営の大きな礎となっています。



電気の総合商社として『時代を先取りする企業』を目指す

当社は、10年という時を区切りとしてビジョンを立て、その目標に向かって進んでいます。

お客様・仕入先・愛光電気の三者間のパートナーシップによる生成発展が当社の使命感経営であることを肝に銘じ、ビジョン実現に向け、中期経営3ヶ年計画を策定し、実行しております。

「AIKO NEW WING PLAN- II」



総合商社として事業領域を拡大してまいります

当社は、取引先とのコラボレーションにより、電気の総合商社として新しい事業領域を広げ、付加価値の高い業務を進めてまいります。

室内環境の改善と省エネのトータルソリューションを考えた『エコシルフィ』

エコシルフィの特許でもある直線的な微風により、室内の空気を強制対流させ家庭やオフィス空間の温度ムラを解消します。これにより冷暖房費に対する省エネ効果が得られ、さらには結露の抑制、カビの発生防止、タバコ臭等の解消にも効果を発揮します。

エコシルフィは現在、官公庁や大手企業様にもその良さが認められ、確実に浸透し続けています。

当社はお客様にエコシルフィを設置していただくことで、より快適な室内環境への改善をご提供していきます。

メーカーHP【北上電設工業株式会社】 <http://kitakami.co.jp/>



自然の恵みを電気に変える。次世代のクリーンエネルギー『太陽光発電システム』

当社は環境エネルギーへの投資が近年進む中、太陽光発電システムのご提案に取り組んでいます。

太陽光発電を利用することにより、地球温暖化の原因となるCO2の排出量削減等の環境保護への貢献はもちろん、クリーンな太陽エネルギーで得た電気をムダなく活用し、光熱費を大幅に抑えることも可能となります。

太陽光を各家庭で電気に変えることが、年々深刻化する環境問題や資源問題の有力な解決策の第一歩になります。

メーカーHP【シャープエネルギーソリューション株式会社】 <http://www.sharp-sesj.co.jp/>



ステッカータイプとしては国内初の消防認定取得品 高輝度蓄光式誘導標識『α-FLASH』

災害などによる停電時の緊急避難を支援する、ステッカータイプの高輝度蓄光式誘導標識「α-FLASH」は、消防法で定める避難設備認定を、蓄光式ステッカーとして国内で初めて取得いたしました。

壁に貼るだけなので電源も施工費も要らず、ランニングコストもかかりません。6～8時間光り続けるため、停電で暗闇になっても標識を頼れば避難時間が約3分の1に短縮できます。

ここ数年、鉄道会社、政府機関やコンビニなどでの採用が増え、東京都においても条例で地下鉄駅舎への設置を義務化しております。

当社は人命救助に貢献できるα-FLASHシリーズをより多くの方にご提案していきます。

メーカーHP【エルティエアイ株式会社】 <http://www.ltic.co.jp/>



IHクッキングヒーターとエコキュートで省エネルギーに加え、安全と安心もご提案

太陽光発電システムとの組み合わせで当社がご提案しているのがIHクッキングヒーターとエコキュートです。

IHクッキングヒーターは、火を使わないのでうっかりしても安心、燃焼ガスが発生しないので室内の空気が汚れない、だからキッチン周りのお手入れも簡単。さらに高火力でスピーディ調理と快適・清潔・省家事を実現します。

エコキュートは空気の熱を給湯に有効利用できるため、家庭で使うエネルギーの1/3を占める給湯の省エネ効果と、フロンガスを使わないのでオゾン層にも悪影響を与えません。太陽光発電とオール電化で、生活環境・生活スタイルをより快適に！よりクリーンに！

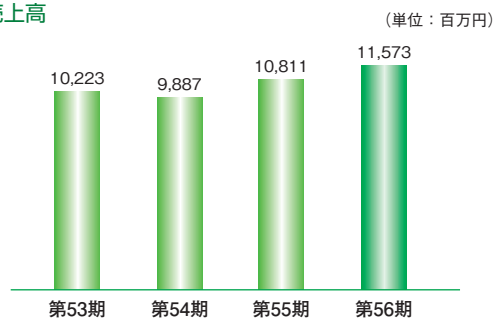
IHクッキングヒーター



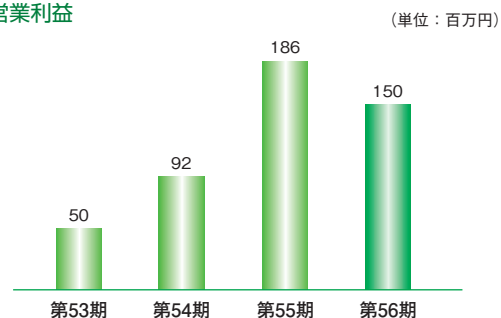
エコキュート



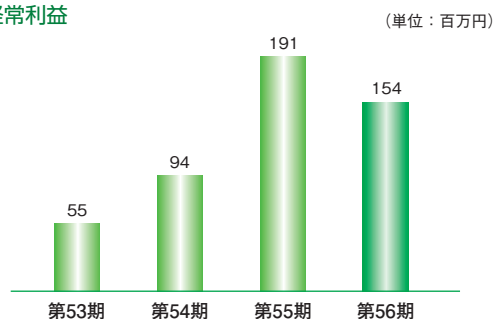
売上高



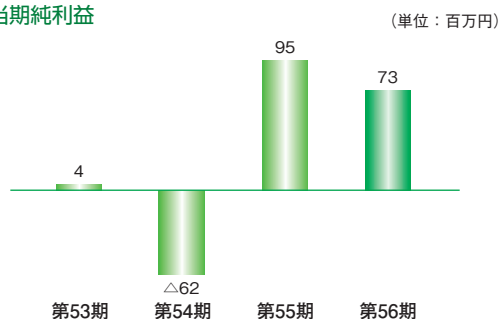
営業利益



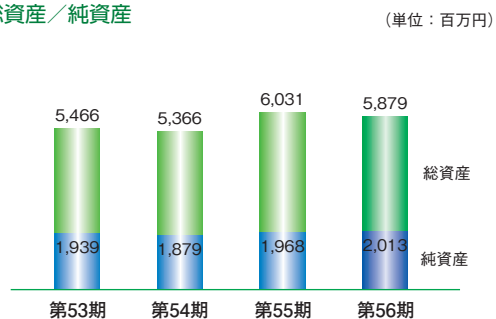
経常利益



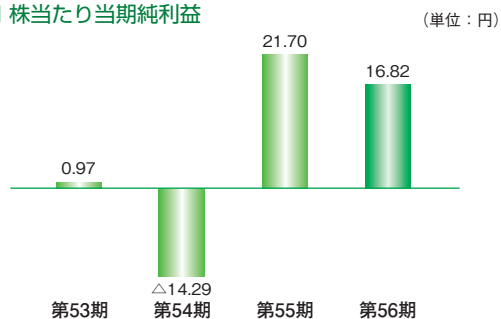
当期純利益



総資産／純資産



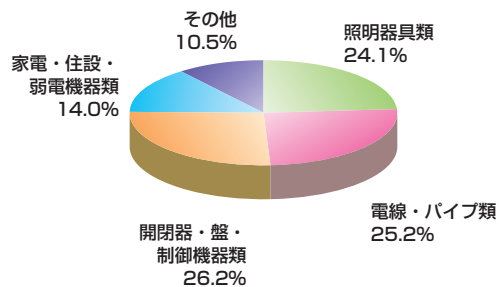
1株当たり当期純利益



取扱品目

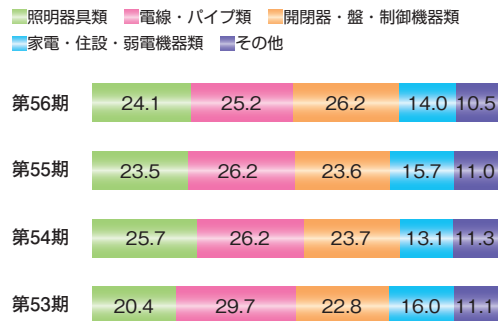
■品目別売上高構成比

(単位：%)



■品目別売上高構成比の推移

(単位：%)



主な取扱品目

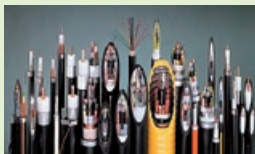
照明器具



配線器具



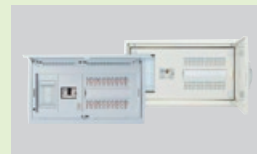
電線



電線管・付属品



盤



キュービクル



制御機器



工具



住宅設備



弱電機器



POINT

流動資産については、前期末と比べて178,031千円(3.5%)減少していますが、現金及び預金の増加と売上債権の減少による差額です。

固定資産については、前期末と比べて25,568千円(2.8%)増加しておりますが、繰越税金資産が増加したことによります。

流動負債については、前期末と比べて208,041千円(5.4%)減少しておりますが、仕入債務及び未払法人税等が減少したことによります。

純資産については、前期末と比べて45,629千円(2.3%)増加しておりますが、当期純利益の計上に伴う繰越利益剰余金が増加したことによります。

POINT

当事業年度末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローのとおり1,379,988千円となり前事業年度末と比べて339,899千円増加致しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、388,634千円の収入となりました。主な要因は、売上債権の入金によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、13,083千円の支出となりました。これは、主に備品購入によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、35,651千円の支出となりました。これは、主に配当金の支払によるものであります。

貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	第56期 2015年3月20日現在	第55期 2014年3月20日現在
資産の部		
→ 流動資産	4,934,462	5,112,493
→ 固定資産	944,861	919,293
有形固定資産	537,994	539,359
無形固定資産	27,129	32,005
投資その他の資産	379,737	347,928
資産合計	5,879,323	6,031,787
負債の部		
→ 流動負債	3,637,509	3,845,550
固定負債	227,845	217,896
負債合計	3,865,354	4,063,447
純資産の部		
資本金	611,650	611,650
資本剰余金	691,950	691,950
利益剰余金	695,349	656,718
その他	15,021	8,022
→ 純資産合計	2,013,969	1,968,340
負債純資産合計	5,879,323	6,031,787

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	第56期 (2014年3月21日から 2015年3月20日まで)	第55期 (2013年3月21日から 2014年3月20日まで)
→ 営業活動によるキャッシュ・フロー	388,634	130,129
→ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,083	△17,328
→ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,651	△13,015
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	339,899	99,785
現金及び現金同等物の期首残高	1,040,088	940,303
現金及び現金同等物の期末残高	1,379,988	1,040,088

損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	第56期	第55期
	（2014年3月21日から 2015年3月20日まで）	（2013年3月21日から 2014年3月20日まで）
売上高	11,573,165	10,811,255
売上原価	9,674,477	9,006,313
販売費及び一般管理費合計	1,747,810	1,618,708
営業利益	150,877	186,233
営業外収益	12,284	14,030
営業外費用	8,706	8,542
経常利益	154,455	191,721
特別利益	—	1,038
特別損失	—	5,052
税引前当期純利益	154,455	187,707
法人税、住民税及び事業税	107,621	140,447
法人税等調整額	△ 26,831	△ 47,789
当期純利益	73,665	95,049

POINT

売上高は前期と比べて7.0%増加しました。

利益面につきましては、粗利高は好調に進捗したものの、貸倒引当金繰入額の計上もあり、販売費及び一般管理費が8.0%増加しました。これにより営業利益150,877千円、経常利益154,455千円、当期純利益73,665千円となりました。

株主資本等変動計算書

当事業年度（2014年3月21日から2015年3月20日まで）

（単位：千円）

	株 主 資 本							評価・換算差額等		純 資 産 計 合		
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本計合	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等計	
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 計	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金	繰 越 利 益 剰 余 金						利 益 剰 余 金 計
2014年3月21日残高	611,650	691,950	691,950	45,943	460,000	150,775	656,718	△9,575	1,950,743	17,597	17,597	1,968,340
事業年度中の変動額												
剰余金の配当						△35,035	△35,035		△35,035			△35,035
別途積立金の積立					60,000	△60,000						
当期純利益						73,665	73,665		73,665			73,665
自己株式の取得								△209	△209			△209
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）										7,207	7,207	7,207
事業年度中の変動額合計					60,000	△21,369	38,630	△209	38,421	7,207	7,207	45,628
2015年3月20日残高	611,650	691,950	691,950	45,943	520,000	129,405	695,349	△9,784	1,989,164	24,805	24,805	2,013,969

会社概要 (2015年3月20日現在)

商号	愛光電気株式会社
創業	1953年11月8日
設立	1959年10月8日
資本金	6億1,165万円
従業員数	164名
主な事業内容	電気製品、機械器具、資材の販売および修理、電気機械、器具取付工事の設計および施工を主な事業とし、これに付帯する一切の業務

役員 (2015年6月18日現在)

代表取締役社長	近藤 保
専務取締役	大関 正一
常務取締役	柏木 良明
取締役	神 嘉彦
社外取締役	藤田 博司
常勤監査役	小笠原 寛
社外監査役	板倉 崇
社外監査役	脇 国広

ネットワーク (2015年6月18日現在)

神奈川西営業部	東京営業部
小田原南営業所	品川営業所
小田原北営業所	京浜営業部
平塚営業所	特販営業所
厚木営業所	港北営業所
神奈川東営業部	制御機器営業部
横浜営業所	藤沢制御機器営業所
横須賀営業所	厚木制御機器営業所
藤沢営業所	環境事業営業部
東静岡営業部	営業一課
沼津営業所	交通営業部
伊東営業所	東京営業所
下田営業所	小田原商品センター



株式の状況 (2015年3月20日現在)

● 会社が発行する株式の総数 12,000,000株

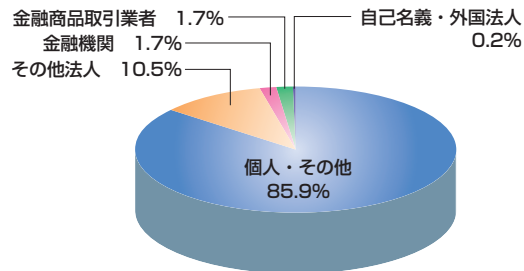
● 発行済株式の総数 4,411,000株

● 株主数 466名

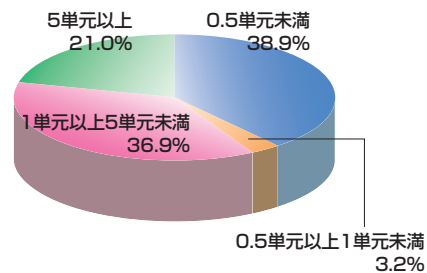
● 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
愛光電気共栄会	828,000	19.10
近藤保	355,300	8.19
東芝ライテック株式会社	264,000	6.09
河村電器産業株式会社	203,000	4.68
渡會孝一	168,000	3.87
近藤和子	160,100	3.69
光昭株式会社	152,000	3.50
愛光電気社員持株会	103,000	2.33
さがみ信用金庫	99,000	2.28
日東工業株式会社	94,000	2.16

■所有者別株主分布状況



■所有数別株主分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月20日 中間配当金 9月20日(中間配当をする場合)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同送付先・連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号(〒137-8081) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711
公告方法	電子公告により行う。(ただし電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。) (http://www.aiko-denki.co.jp/)

Web Information

ホームページのご案内

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。製品情報に加えて最新のトピックスを随時更新し、当社の事業活動や動向を紹介しています。

当社をよりご理解いただくためにも皆様のアクセスをお待ちしております。



<http://www.aiko-denki.co.jp/>

愛光電気株式会社

〒250-0293 神奈川県小田原市西大友205番地2 TEL.0465-37-2111 (代)

